

2. 修学旅行等を通じた参加・体験型学習プログラムの充実の方向性と具体案

(1) 修学旅行等の誘致に向けた北方領土隣接地域において想定可能な学習テーマ設定の検討

ここでは、北方領土隣接地域における参加・体験型学習プログラムの充実のあり方を検討するに当たり、まず北方領土隣接地域を修学旅行等で訪れる際に、地域の資源を活用して想定しうる学習テーマ設定のパターンを整理する。

① 活用可能な資源から見た実施可能な参加・体験型学習テーマ

文献調査及びヒアリング調査の結果によって把握した、修学旅行等で活用可能な施設での参加・体験型学習テーマは、「平和学習（北方領土学習）」のほか、「環境学習・自然体験」、「農林漁業・食体験」、「歴史・文化学習」が挙げられ、特に「環境学習・自然体験」の参加・体験型学習プログラムが北方領土隣接地域内には豊富であるといえる。

＜北方領土隣接地域で今後の修学旅行等の受入が可能と想定される参加・体験型学習のテーマ別施設＞

- 平和学習（北方領土問題啓発施設）：8施設
- 環境学習・自然体験：28施設
- 農林漁業・食体験：18施設
- 歴史・文化学習：10施設

図表 V-2 今後の修学旅行等の受入が可能と想定される参加・体験型学習施設等のテーマ別施設数

| テーマ | 施設数 | | | | | |
|---------------|------------|-----|-----|------|-----|-----|
| | 隣接地域 合計 | 根室市 | 別海町 | 中標津町 | 標津町 | 羅臼町 |
| 平和学習 | 8 | 2 | 2 | 0 | 3 | 1 |
| 環境学習・ 自然体験 | 28 | 8 | 4 | 7 | 3 | 6 |
| 農林漁業・ 食体験 | 18 | 6 | 2 | 3 | 6 | 1 |
| 歴史・文化 学習 | 10 | 3 | 4 | 1 | 0 | 2 |

図表 V-3 立地地域別に見た今後の修学旅行等の受入が可能と想定される平和学習施設

| 地域 | 施設名 | 学習内容 |
|-----|----------------|-----------------|
| 根室市 | 北海道立北方四島交流センター | 北方領土に関する展示見学 |
| | 北方館・望郷の家 | 北方領土に関する展示見学 |
| 別海町 | 別海町観光船 | 国後クルージング |
| | 別海北方展望塔 | 北方領土に関する展示見学 |
| 標津町 | 北方領土館 | 北方領土セミナー |
| | 生涯学習センターあすばる | 北方領土セミナー |
| | 観光船 | 北方領土セミナー |
| 羅臼町 | 羅臼国後展望塔 | 国後島や羅臼市街、羅臼岳の望見 |

図表 V-4 立地地域別に見た今後の修学旅行等の受入が可能と想定される
環境学習・自然体験施設

| 地域 | 施設名 | 学習内容 |
|------|-----------------------|---------------|
| 根室市 | 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター | レジャー体験、自然観察など |
| | 明郷 伊藤☆牧場 | 自然観察 |
| | 根室ヨット協会 | レジャー体験 |
| | AB-MOBIT 築拓キャンプ場 | 自然観察 |
| | 根室乗馬クラブ | レジャー体験 |
| | 根室春国岱海岸潮干狩場 | レジャー体験 |
| | ねむろ自然ガイド・ラクル | 自然観察 |
| | 落石ネイチャークルーズ協議会 | 自然観察 |
| 別海町 | まきばの宿(野付ライディングファーム) | レジャー体験 |
| | 別海町観光船 | レジャー体験 |
| | 奥山牧場 | レジャー体験 |
| | 野付半島ネイチャーセンター | 自然観察 |
| 中標津町 | 開陽台ウエストントレール | レジャー体験、自然観察など |
| | 道立ゆめの森公園 | レジャー体験 |
| | SUNBALOON CLUB(伊藤牧場) | レジャー体験 |
| | 標津川のいかだ下り | レジャー体験 |
| | 道東エコリズムセンター | 自然観察 |
| | 中標津に歩く道をつくる会 | 自然観察 |
| | 中標津ホーストレッキング同好会 | レジャー体験 |
| 標津町 | 海の公園釣突堤 | レジャー体験 |
| | 町内溪流 | レジャー体験 |
| | 標津町ポ-川史跡自然公園 | 自然観察 |
| 羅臼町 | 観光船アルランⅢ世 | 自然観察 |
| | 知床国立公園・羅臼ビジターセンター | 自然観察 |
| | 知床ネイチャークルーズ | 自然観察 |
| | ゴジラ岩観光 | 自然観察 |
| | 観光船はまなす | 自然観察 |
| | シーライフ・ウオッチ | 自然観察 |

図表 V-5 立地地域別に見た今後の修学旅行等の受入が可能と想定される農林漁業・食体験施設

| 地域 | 施設名 | 学習内容 |
|------|------------------------|----------|
| 根室市 | 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター | 酪農体験 |
| | 明郷 伊藤☆牧場 | 酪農体験 |
| | AB-MOBIT 農産物加工体験館「食多楽」 | 農産物加工体験 |
| | 村島牧場 | 酪農体験 |
| | 富岡牧場 | 酪農体験 |
| | 小笠原牧場 | 酪農体験 |
| 別海町 | まきばの宿(野付ライディングファーム) | 酪農体験 |
| | 奥山牧場 | 酪農体験 |
| 中標津町 | 中標津町畜産食品加工研修センター | 畜産物加工体験 |
| | 乾牧場 | 酪農体験 |
| | 上原農場 | 農業体験 |
| 標津町 | 漁港 | 漁業体験 |
| | 町内鮭加工場 | 水産物加工体験 |
| | 標津サーモン科学館 | 漁業学習 |
| | 町内酪農家 | 酪農体験 |
| | 標津漁協市場 | 食体験 |
| | 標津町ポ〜川史跡自然公園 | 食体験 |
| 羅臼町 | ふるさと体験館 | 農水産物加工体験 |

図表 V-6 立地地域別に見た今後の修学旅行等の受入が可能と想定される歴史・文化学習施設

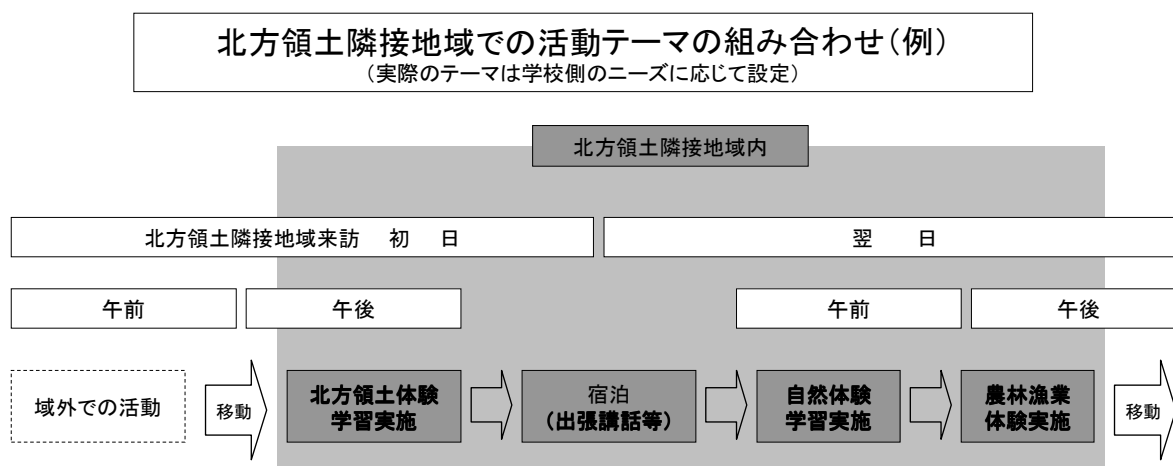
| 地域 | 施設名 | 学習内容 |
|------|-----------------------|-----------------|
| 根室市 | 歴史と自然の資料館 | 歴史・文化・自然に係る展示見学 |
| | 和田屯田記念館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| | 慟哭の森美術館 チヌカルコロ・ミュージアム | 文化資料の展示見学 |
| 別海町 | 奥行臼駅通所 | 史跡見学 |
| | 別海町郷土資料館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| | 加賀家文書館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| | 別海町鉄道記念館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| 中標津町 | 中標津町郷土館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| 羅臼町 | 羅臼町郷土資料館 | 歴史・文化に係る展示見学 |
| | 標津町ふるさと館 | 歴史・文化に係る展示見学 |

② 北方領土隣接地域での学習テーマ設定のイメージ

北方領土隣接地域での1泊の宿泊滞在を前提として、初日の午後に北方領土隣接地域に入り、翌日の正午前後まで北方領土隣接地域に滞在するケースを想定すると、初日の午後、翌日の午前の時間帯に異なるテーマの参加・体験型学習プログラムの実施が可能である。

前項で整理したとおり、最も施設数が多い「環境学習・自然体験」施設と少ない「歴史・文化学習」施設では選択の多様性に差があるものの、いずれのテーマも北方領土隣接地域内の各市町にそれぞれ何らかの施設等があり、行程に制約されることなく学校のニーズに応じたテーマの組み合わせがある程度可能と考えられる。

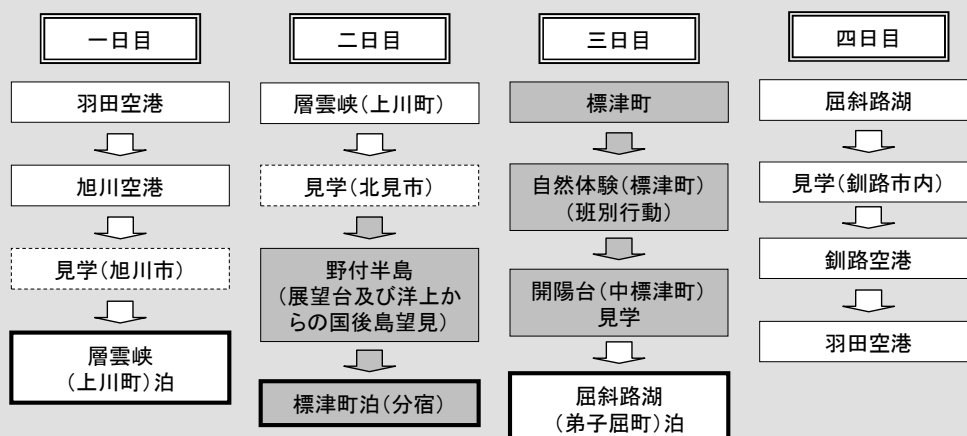
図表 V-7 北方領土隣接地域での活動テーマの組み合わせ（例）
（実際のテーマは学校側のニーズに応じて設定）



<参考例>

■ 北方領土隣接地域への修学旅行の行程の実例

— 茨城県立A高校の例（平成22年9月実施） —



(2) 想定される事後学習の参加・体験型学習プログラムの流れ (模擬授業に至るまでの流れ)

■ 基本条件

参加・体験型学習プログラムの流れの検討に際して、これまでの調査結果等を踏まえ、幾つかの基本条件を設定した。

まず、図表 V-7 に示したイメージを前提とし、北方領土隣接地域に1泊し、宿泊する日の午後と翌日の午前を参加・体験型学習プログラムの実施期間として設定した。宿泊地は、分泊に対する受容性が見込まれる標津町及び別海町を想定した。

次に、提供する参加・体験型学習プログラムに関しては、これまでの調査結果を踏まえ、学習効果の面で評価やニーズが高く、不可欠な学習要素と言えるものを抽出した。具体的には、リアリティの醸成という観点からは「元島民等による講話」「北方領土の望見」、教育機関の学習方針への対応という観点からは「取材学習」、学習内容の共有という観点からは「発表機会」を設定した。

■ 現地での参加・体験型学習プログラムの内容

現地における参加・体験型学習プログラムは、上記の基本条件に基づき、「学年単位」「グループ単位」の2パターンで検討した。「グループ単位」では、小規模活動になるため、観光船を利用した「北方領土の望見」とし、学習内容の共有については、翌日の午前中に別テーマの学習を行ったグループとの合同発表会の実施を想定する。

取材学習に関しては、移動時間のロスを排除するために、特定の施設に現地関係者が集まってヒアリング等に対応してもらう方法を想定する。

■ 事後学習の内容

事後学習に関しては、北方領土体験学習に参加した生徒に感想文を書いてもらい、それに対する現地側の関係者の感想等をフィードバックするとともに模擬授業の実施を依頼する。対応可能な学校等があった場合は、立地する地域において模擬授業を開催する。

■ 事後学習実施への学校側に対する働きかけ方

事後学習には、次頁の図に示すとおり、修学旅行後の感想や取りまとめた学習成果の受入・評価のフィードバックなど間接的で比較的参加しやすいものから、勉強会や意見交換会、模擬授業などより主体的、能動的な参加機会まで、多様なプログラムが想定される。学校側への働きかけ方も、以下のようにそれらの特性に応じたさまざまな角度から行うことが想定される。

* 感想文や事後学習成果の受入・評価のフィードバックなど比較的参加しやすいもの

- ・ 修学旅行誘致に際して、修学旅行に参加した生徒が誰でも参加可能な充実した事後学習機会としてアピール

* 勉強会や意見交換会、模擬授業などより主体的、能動的な参加機会

- ・ 北方領土問題に対し特に意識の高い学校を対象に、修学旅行誘致時に併せて、一部生徒の参加を要請

図表 V-8 参加・体験プログラムの流れ

